

2005.04.21：総務財政委員会

「職員の給与制度について」

池田友信委員

私も本会議の方でこの辺に対する問題提起というか検討、質問をさせていただいたんですが、今の論議の中でも、ちょっとふれる訳でありますけれども、1対2を1対1にするという背景の中で、給付の負担と給付内容の問題がありますが、一つはこの1000分の4ずつにするというのと1000分の2ずつにするという、そういう論議をどんな形でされたのかですね。要するに1対1にする論議過程の中で、これは組合さんの方もあってしょうから、その辺の交渉も入ってる中にあると思うんですけど、そういう形の中で1000分の4ずつにするという形になった経過をですね、我々聞きたいのは、1対1にするっていうことは、先ほども大泉委員が言ったようにこれは行政改革の中での一つとしての互助会関係に対しては1対1というのがあるべきじゃないのかというようなことの中で、結果としては財源を減少させるというふうなつもりで議員各位は論議していたと思うんですけどね。

それとですね、やはりこれは福利厚生の問題ですから、企業においても社員の福利厚生に一応そういう形で事業主としてやるという考え方はいいかと思うんですが、しかし同じ県内の中で宮城県はこれゼロなんですね。そういう形で考え方としてこれは市民の税金でやってるということを事業主といえどもですね、したがってその負担に対する考え方、これを県は県、市は市、別だというふうになるんですが、仙台市は仙台市としてのちゃんとしたそういう理念と考え方を持たないと、県はゼロで市が負担じゃ、これはいろんな意味で比較されるし考えをきちんと持たないといけないと思うんですね。ですからその辺の整理の仕方と考え方がどんな形で、特に宮城県の中では県と比較されるのがありますから、仙台市としてはこういう考えでこういうふうに福利厚生費の考え方なんだということを、これはぜひきちんと整理されて表明いただきたいと。

それから給付内容を検討するというのは、1000分の4があってその給付内容を1000分の4ありきで給付内容を変えていくということなのか、1000分の2で給付内容を変えるのか、あるいは給付される内容がもう少しこうあるべきだということが整理されたうえで給付を考えていくのかと、これは考え方、いろいろ進め方が違うと思うんですね。我々の質問の中でも特にそういう部分で、もっと給付内容というかあり方というものを、もっと整理をしてその中でやるべきじゃないかということの問題提起しているわけでありまして。したがって1000分の4ありきっていうことは、私はいかがのものかなという感じはするんですがね。

そういう意味で、まず1000分の4ずつになったという経過と1000分の2にならなかったということも含めて、その辺の経過、ちょっとお伺いいたします。

#### 人事部長

互助会の問題につきましては、私ども二つ問題があると思ってございまして、一つは当局の補助、これが掛金の2倍になっていたという去年までの状態がございまして。

それから、そもそも互助会の行う事業そのものが他都市あるいは市民の皆様からさまざまな御意見をいただき議会でも御議論があった中で、どのようにしていくべきかという2点がございました。今回年度末で整理した内容といたしましては、掛け金と補助金の率につきましては1000分の4同士1対1としたところでございまして、事業内容の見直しにつきましては年度末までに整理が時間的にもできないという状況がございまして、年度明けて夏でございまして、この夏の交渉課題ということで引き続き見直しの協議をしていくということで整理をいたしたところでございまして。

したがって、1000分の4はもちろん固定ではございません。今後事業の見直しを進めた上で公費負担のあり方そのものも含めて、見直してまいりたいというふうに考えてございまして。したがって今の時点の整理はあくまで途中段階というふうに御理解いただければというふうに思っております。引き続き事業内容については、検討を深めてまいりたいというふうに思っております。

#### 池田友信委員

そういう説明であればわかるんですが、結論が1000分の4で固定されてる。それでその中で給付内容を変えろとかね。進め方としては、そうじゃないんですよね。やはり給付内容を考えていく、結果としてそれは1対1の割合の中で1000分の3ずつになるかもわからないしね。1000分の4ということになると職員に負担がかかるわけでしょ、掛金として。ですからそれが本当にいいのかどうかということも含めて、それから総額の前原資の財源を考えれば、仙台市の財政関係の結果として、この削減になるような感じで根本的に給付内容をもう少し見直すいろんな状況状況、見直すということによって、そして結果としてその負担割合を1対1にするとそれが1000分の4と1対2じゃなくて1対1の割合で行くと、結果として1000分の3とか1000分の2というずつになるというふうな形にまとまっていくことが私は望ましいと思うんです。それとやはりそういうふうになった中でも結果としては、県は

ゼロですからね。したがって、それは仙台市は仙台市としてのあり方という考え方で結構だと思うんですが、ただ市民としてはやはり県がゼロで何で仙台市と、こういうふうな形になりますから、やはりその辺はきちんとした理念、考え方を持って、それに対して市民が納得ができるような説明ができるようにぜひその辺を整理していただきたいと思います。